

適応機種 スズキ車

バーディー 50 (BA42A) 2004年10月～ K5/K6

バーディー 50 (BA43A) 2008年3月～ K8

■ 販売店様へ

この取扱・取付説明書は、必ずお客様にお渡し下さい。

■ お客様へ

この取扱・取付説明書は、必ず保管してください。

このたびは、ウインドシールドをお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございました。
ご使用前に、この取扱説明書をお読みいただき、いつも手元に置いて、正しい取扱方法により
永くご愛用くださるようお願い申し上げます。

製造：株式会社 旭精器製作所
住所：東京都足立区舎人2-16-21
TEL：03-3853-1211

部品構成表

No.	部品名	QTY	No.	部品名	QTY
①	シールドASSY	1	⑦	ウレタンワッシャー10mm	2
②	タレASSY	1	⑧	キャップナットM10	2
③	ステー	2	⑨	プラスチックリベット	5
④	パイプホルダー	2	⑩	ゴムワッシャー 5mm	5
⑤	スプリングワッシャー10mm	2	⑪	シールセット	1
⑥	ナットM10	6			

※シールセットは、ウインドシールドに貼付けて使用してください。

スクリーン取扱について

⚠ 注意

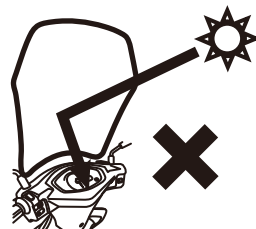
- 走行前に取り付け状態を確認し、各部のボルトが確実に締め付けられているか確認してください。
- ウインドシールドが汚れた場合は多量の水をかけながら柔らかい布か、スポンジで拭いてください。
- ウインドシールドは、傷つきやすいのでブラシなどの洗浄は避けてください。
- ウインドシールドの汚れがひどいときは、中性洗剤を使用してください。
- 酸性洗剤、アルカリ性洗剤、ガソリン、ベンジン、シンナーなどの有機溶剤でのお手入れは避けてください。
またバッテリー液、ブレーキフルードがウインドシールドに付着しないようにしてください。ウインドシールドのプラスチックを損傷します。
- ボディカバー（車体カバー）をかぶせた状態で駐車する場合は、日陰の風通しの良い場所を選んでください。
- ボディカバー（車体カバー）をかぶせて高温下に駐車しますとカバー内に熱がこもり、ウインドシールドが変形する場合があります。
- ボディカバー（車体カバー）を使用の際は、ウインドシールドに無理な力がかからないものをご使用ください。
小さなものを無理にかけますと、ウインドシールドが変形したり、折れたりする場合がありますので注意してください。
- 無理に折り曲げたり、強い衝撃を加えますと破損することがありますので注意してください。

⚠ 警告

- 風の強い日は、風の影響を受けやすいので、スピードを控えめにして走行してください。
- 駐車する場合は、安定した場所（路面の固い平坦地）を選んでください。
- ウインドシールドの著しい傷つきや、黄変がある場合は、十分な前方視界の確保ができない為、シールドの交換を行ってください。
- スクリュー、ボルト、ナットは確実に締めてください。
締付けが不確実な場合、走行中に脱落し、自分または後続車の乗員や歩行者を死亡、または重大な傷害に至らしめる可能性が高くなります。

— スクリーン反射集光の警告 —

- スクリーンに直射日光が当たらないように駐車してください。
スクリーンが凹面鏡になり、反射集光した太陽光が発熱し、車両のカバーなどを変形させる恐れがあります。
- 直射日光が当たる場所に駐車する場合は、柔らかいタオルなどでスクリーンをカバーして直射日光が当たらないようにしてください。



必要工具

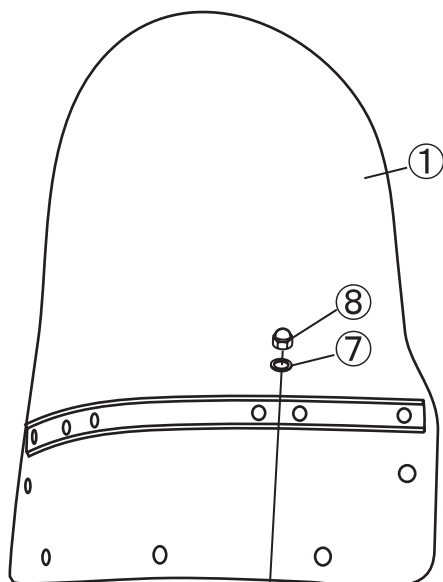
● スパナ(12mm)

● スパナ(14mm)

● メガネレンチ(14mm)

● プラスドライバー

取り付け方法



I : はじめに、④パイプホルダーを図の位置に仮止めます。

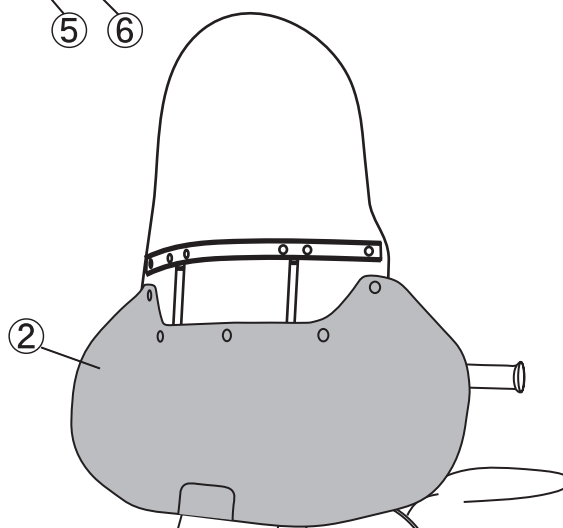
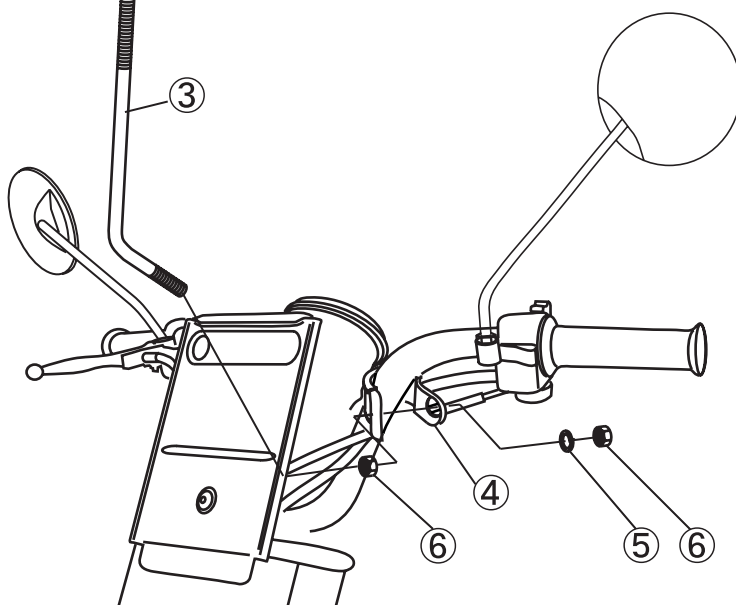
II : 図のように、③ステー、⑥ナット
⑤スプリングワッシャーを使い④パイプホルダーに
③ステーを仮止めます。

III : 仮止めした③ステーに⑥ナット、
⑦ウレタンワッシャー、⑧キャップナットを使い
①シールドA S S Yを仮止めます。

IV : 前後左右のバランスをとり、各ボルトナットを
本締めします。

V : 最後に②タレを前側より①シールドA S S Yに
取り付けます。

※ 別図あり



①シールドASSYと②タレASSYの取り付け方法

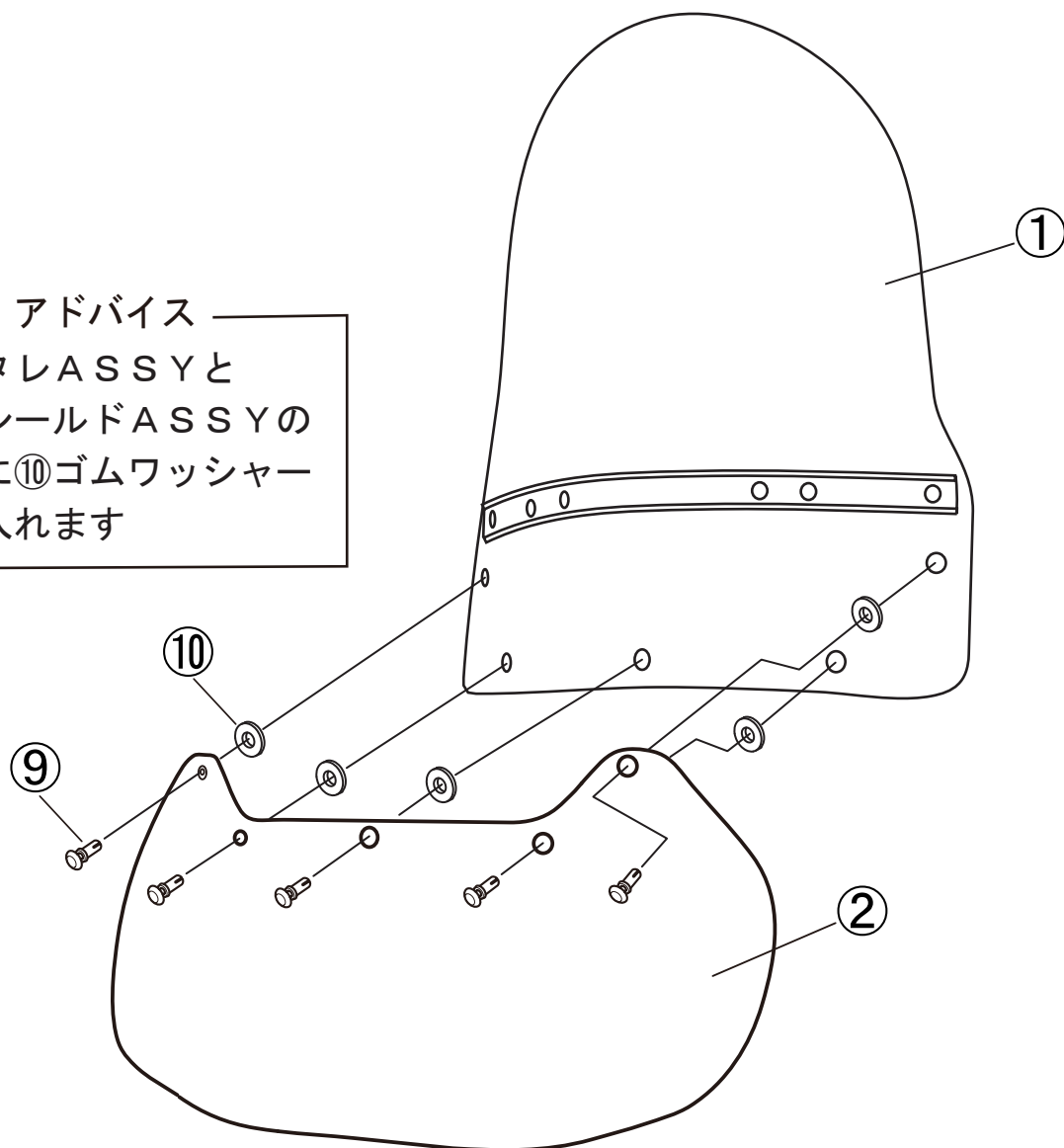
V

- ① シールドASSYに、② タレASSYを
- ⑨ プラスチックリベット
- ⑩ ゴムワッシャー5mmで止めます。



アドバイス

②タレASSYと
①シールドASSYの
間に⑩ゴムワッシャー
を入れます



アドバイス

最後に前後左右のバランスを取りながら①シールドASSY、②タレASSYの位置を調整し仮組みしたボルト・ナット類をすべて本締めして完成です。